

令和３年度第５回和光市史平成版編集委員会議事録			実施日：令和４年３月４日（金）	
			14:00～15:40	
場所	ZOOM 会議	出席者	編集委員：佐々木先生、磯、黒沢 和光市(事務局)：鈴木様、石田様、相田様 ぎょうせい：亀山	
議題	原稿を校正する際の基準について 「和光市の平成をたどる」冒頭リード文について 「和光市の平成をたどる」初校ゲラについて、編さん委員の意見を受けての内容検討 「和光市の歴史（かこ）をふりかえる」時代概況の原稿について		配布物	各委員からの意見聴収の資料一式 （ZOOM 会議に伴い、事前に和光市より、送付済み）
＜原稿を校正する際の基準について＞ ・事務局石田様より共通事項として、年号について、掲載頻度の多い名称について、「本市」を「和光市」と表記することについて、キャプションの配置について、掲載する写真について、年表中の年月の書き方についてご説明いただき出席者が確認した。 ・個別事項として、黒沢より、「和光市の平成をたどる」冒頭リード文について、タイトルとして「平成への入口ーキーワードで振り返る平成史」としたこと、文章量を４頁以内に収めるなど、今後内容精査を行うことを説明し、出席者が共有した。 ＜「和光市の平成をたどる」初校ゲラについて＞ 各編さん委員からの意見について協議 ・今回も前回同様、各編さん委員からの意見の内容を踏まえ、その対応案について事務局石田様からご説明いただいた。各委員から多くの意見が寄せられたことを踏まえ、事務局対応案の中から特に協議すべき必要があるものをピックアップしながら、佐々木先生、編集委員より質問・確認、協議を行った。 ・p131 上段写真キャプション「くい打ち没式」とは何か？との照会について、黒沢より、記載の誤りであることをお詫びし、正しくは「中心ぐい打設式」であることをお伝えし了承を得た。 ・掲載写真については、色の調整や写真の差換え若しくは新たに撮影をし直すほか、「新座市制 50 周年記念 新座市史ダイジェスト 道」を参照し、古い写真はあえて大きく掲載する、写真の縁取りをして見やすくするなどして適切なものを選定していくことを確認。佐々木先生から、単に新しいものではなく古いものと新しいものを並べて比較したり、本文の内容や時代、状況に応じたものをバランスよく選択したほうがよいとのアドバイスをいただいた。 ・p138 の「特長」という表記について、磯さんより「肯定的な意味合い」によりこの表記とした旨説明いただき出席者が確認した。 ・佐々木先生から、表題の句読点は文中にある「、」も含めて全てとることをご提案いただいた。また表題の右上にある年号（「平成〇年（１９〇〇）」）のポイントを大きくすることについても出席者が確認した。 ・このほかの修正については、おおむね事務局対応案のとおりで確認・了承された。 ＜「和光市の歴史（かこ）をふりかえる」時代概況の原稿について＞ ・佐々木先生より、当時の人々の暮らしの一端を表し、大きな時代状況の流れから和光市民がどう動いて				

いったのかを意識し執筆したとのご説明があった。

- ・黒沢より、佐々木先生原稿と宮瀧先生原稿を双方で調整していただきたいとお願いした。
- ・佐々木先生より、調整はするが、宮瀧先生担当箇所とは時代背景が大きく異なるので、結果として「調整なし」の場合もあり得るとのお話があった。
- ・プロローグ、エピローグの原稿作成については、全体が見えてから、挿入写真（イメージ写真か）も含めて取り組むこととする。
- ・「平成への入口ーキーワードで振り返る平成史」にでてくるDVやSDGs、LINE、インスタグラム等の英語表記・カタカナ表記については、一般的な表記（磯さんの判断）に準ずることとする。

【今後の予定】

- ・「和光市の現在（いま）をうつしだす」の初校ゲラについて、和光市への到着は4月上旬を予定。
- ・「和光市の歴史（かこ）をふりかえる」再校ゲラ手配、当初想定よりずれ込む見込み。
- ・次回第6回の和光市史平成版編集委員会は、5月中旬開催予定。

[以上]